



第1章 計画の基本的事項

1.1 計画改定の背景 p.1~8

- 環境施策をめぐる社会情勢の動向
 - ・SDGs(持続可能な開発目標:2015年)の採択,国の第五次環境基本計画等を背景とした持続可能な社会に向けた動き
 - ・地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定の発効(2016年)を踏まえた環境施策の展開(脱炭素社会の実現,気候変動による影響への適応など)
 - ・海洋プラスチックごみ問題,食品ロス等の新たな環境問題
 - ・新型コロナウイルス感染症を契機とした経済・社会システムの変化,「新しい生活様式」
- 国や東京都の動き
 - ・SDGsの考え方を活用しながら環境・経済・社会の統合的向上に向けた取組
 - ・2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「脱炭素化」

改定の視点

- ①持続可能な社会の実現に向けた取組を促進する(SDGs,「地域循環共生圏」への対応)
- ②地球温暖化対策をめぐる動向に対応する(温室効果ガスの更なる削減,脱炭素化,気候変動による影響への適応)
- ③新たな環境問題,経済・社会システムの変化に対応する(海洋プラスチックごみ問題,食品廃棄物問題,「新しい生活様式」等)
- ④調布市の特性とこれまでの取組を生かす(身近な水辺・里山及び生物多様性の保全,都市農地の保全,受動喫煙対策等)
- ⑤市民,事業者の行動を更に促進する

1.2 改定計画の概要 p.9~11

- 計画の目的
 - ・市の環境特性を踏まえ,目指す環境の将来像,計画の基本目標を示す
 - ・実現するための施策,主な事業,推進体制,進行管理のあり方等を示す
 - ・現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保並びに福祉の向上に寄与する
- 計画期間
 - 令和3(2021)年度から
 - 令和7(2025)年度まで(5年間)
- 計画が対象とする範囲
 - ・緑と水,自然環境に関すること
 - ・景観や都市環境等に関すること
 - ・身近な生活環境等に関すること
 - ・脱炭素社会や循環型社会に関すること
 - ・環境学習や啓発,実践活動・協働等に関すること

第2章 市が目指す環境の姿

2.1 地域の概況 p.12~17

- ・武蔵野の原風景を残す豊かな自然(崖線の緑,里山,多摩川をはじめとする水辺)
- ・数多くの歴史的・文化的資源
- ・人口は令和10(2028)年ごろまで増加の見込み
- ・宅地の増加は未だ緩やかに進行

2.2 目指す環境の姿 p.18~19

- 基本理念
 - 持続可能な人間社会の存続とすべての生き物が共存する地球,地域環境を保全・回復・創出する
- 目指す環境の将来像
 - 未来に続く,緑と水あふれるほっとするまち 調布
 - 私が守る地球,私が育む調布の自然と暮らし—

2.3 基本目標及び施策の体系

第3章 環境の保全と創造に向けた施策

基本目標	施策の方針	施策
1 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち p.22	1-(1) 緑と水の保全・再生 p.29~37	1-① 緑の保全 1-② 水循環の回復と水環境の再生 1-③ 都市農地や里山環境の維持・保全
	1-(2) 生物多様性の保全・活用 p.38~43	1-④ 生物の生息空間の保全 1-⑤ 多様な自然環境の活用
2 人と環境が調和する快適で美しいまち p.23	2-(1) 美しい街並みの形成 p.44~48	2-① 景観形成の推進 2-② 歴史・文化環境の保全・継承
	2-(2) 快適な空間の確保 p.49~53	2-③ まちのうるおいの創出 2-④ 都市美化の推進
3 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち p.24	3-(1) 公害のない環境の維持 p.54~64	3-① 大気汚染の防止 3-② 水質汚濁の防止 3-③ 騒音・振動の発生抑制 3-④ 化学物質等の対策の推進
4 脱炭素で循環型の社会を目指すまち p.25	4-(1) 脱炭素化に向けたまちづくりの推進 p.65~80	4-① 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及 4-② 再生可能エネルギー等の活用推進 4-③ スマートシティの実現 4-④ 気候変動への適応
	4-(2) 循環型まちづくりの推進 p.81~87	4-⑤ 3Rの推進によるごみの減量 4-⑥ ごみの適正処理
5 みんなの力でより良い環境を目指すまち p.26	5-(1) 環境教育・環境学習の推進 p.88~93	5-① 環境意識の醸成 5-② 学びと活動体験機会の充実
	5-(2) 連携・協働による環境保全活動の推進 p.94~99	5-③ 活動の担い手となる人材育成と活動支援 5-④ 様々な主体と活動の環(わ)の拡大

第4章 重点プロジェクト

4.1 重点プロジェクトの選定及び構成 p.100~101

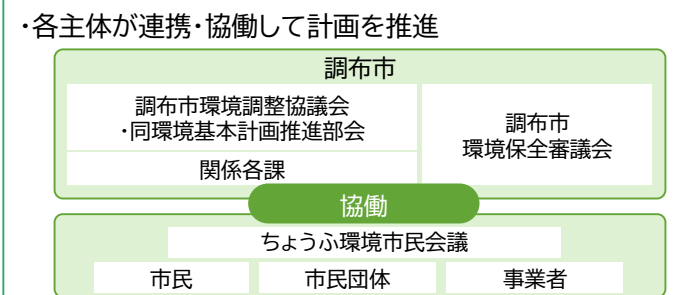
- <選定基準>
- ・時代背景をふまえた緊急性,優先度
 - ・市民ニーズの高さ(社会的要請の強さ)
 - ・事業効果の高さ
 - ・市民・市民団体・事業者・市の連携・協働

4.2 重点プロジェクトの概要 p.102~108

- 各プロジェクトの内容は,前期の進捗,市民意見等を踏まえ見直しを実施
 - 1 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト
 - ・深大寺・佐須地域農の風景育成地区における農の風景を継承する取組の推進
 - ・国分寺崖線などの崖線緑地における生物の生息・生育環境調査の実施 など
 - 2 みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト
 - ・再生可能エネルギー由来の電力の選択に関する普及啓発
 - ・CHOFUプラスチックスマートアクションの推進 など
 - 3 みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト
 - ・ICTを活用した新たな環境情報発信方法の検討
 - ・多摩川自然情報館におけるボランティア解説員養成講座の充実
 - ・広域的な環境保全活動に向けた他自治体との連携 など

第5章 計画の推進

5.1 推進体制 p.109~111



5.2 進行管理 p.112~113

- ・毎年度,施策の進捗状況等を点検し,環境年次報告書を作成,公表